

2010.3

シルバー こうべ

編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団
 神戸市シルバー人材センター
 〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンパル10階)
 ●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066
 ●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181
 ●西部センター／621-6880 ●本 部／252-0316
 電話番号はおかけ間違いのないようお願いします
 ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

阪神・淡路大震災から15年 いま一度すまいの耐震化を考えませんか？

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割が家屋の倒壊や家具の転倒によるものでした。
 近い将来起こり得る地震に備え、命を守るために、すまいの耐震化をすすめましょう。

自分のすまいを知る

すまいの安全性を知るために
耐震診断を受けましょう



神戸市耐震キャラクター
オキールファミリー

昭和56年5月31日以前に建てられた住宅(旧耐震基準の住宅)は地震に対する強度が不足している可能性があります。耐震診断で安全性をチェックしましょう。

無料

神戸市では旧耐震基準の住宅を対象に、無料で耐震診断を行っています。
 (ツバイオ・プレハブ・丸太組み工法は対象外です)

耐震診断で耐震性が不足していると判定されても、耐震改修工事を行うことで、耐震性が向上します。

補助制度あり

耐震改修工事を行う場合の補助制度があります。
 (補助制度ご利用の際は、設計・工事契約前に申請が必要となります。)

すまいを丈夫にする

耐震診断で「危険」と判定された場合は、**耐震改修工事**をしましょう



神戸市耐震キャラクター
オキールファミリー

地震に備えて家具等の転倒による被害を防ぐことが大切です。家具の配置を見直したり、金具で壁に家具をとめるなど、すまい方を工夫しましょう。家具の固定は、専門家にまかせることをお勧めします。

すまい方を工夫

命を守る最低限の取組みとして
家具固定をしましょう



神戸市耐震キャラクター
オキールファミリー

補助制度あり

専門家による家具固定費用に対する補助制度があります。
 (65歳以上の方・障害者の方・小学生以下の子どもがいる世帯が対象です。)

すまいの耐震化に関するお問合せは

神戸市すまいの安心支援センター(すまいるネット)まで

TEL 078-222-0186

FAX 078-222-0106

<http://www.smilenet.kobe-jk.or.jp/>

配分金支払日のお知らせ

2月分	3月分	4月分	5月分	6月分
3月15日(月)	4月15日(木)	5月20日(木)	6月15日(火)	7月15日(木)

職場レポート

伝統の落語の寄席のお手伝い

兵庫区民寄席

第一回目の兵庫区民寄席は、昭和53年3月18日に兵庫区役所の地下にある兵庫公会堂で開催されました。これは昔、神戸唯一の演芸の殿堂であった新開地の神戸松竹座が閉館されるにあたり、兵庫の寄席の灯を消さないために開催されたものです。



開演前の会場

当初は年に10回も開催していましたが、次第に観客動員数が減少してしまい、起死回生を図るため、昭和56年から年5回に減らし、出演者をはじめ内容を充実させました。



桂春駒師匠

この区民寄席を楽しみにしている常連の方々や、上方落語の桂春駒師匠のご尽力で31年間に171回を開催しています。

当初より地域団体の神戸まつり兵庫区協賛会が主催し、プロデュースは第1回より桂春駒師匠が行い、事務局は兵庫区役所まちづくり課が担当しています。



区民寄席の案内

1月、3月、6月、9月、11月の年5回開催されますが常連さんも年毎に増えてきており、開演日には開場前の午後4時30分頃からお客さんが来られているそうです。

こんな歴史と伝統のある寄席の会場の設営、撤去、切符のもぎりや、落語の上演中は有料駐車場の巡回等の作業を、平成21年9月12日を初回としてシルバー会員2名が就業しています。

会員の左藤さん、須藤さんは「特に設営には時間の制約があります。迅速にパイプ椅子を設置するため、最初に300の椅子を3ブロックに並べ、両端ブロックは舞台の演台が見やすいように椅子を斜めにし、真ん中のブロックは1列づつ交互にずらして設営する苦勞があります。」との話でした。



切符のもぎり



会員の左藤さん、須藤さん

兵庫区民寄席のおしらせ

会 場：兵庫公会堂（兵庫区役所地階）
 入 場 料：当日券 1,000円
 前売り券 800円
 前売り券
 発売場所：兵庫区役所4階まちづくり課
 パークタウン1階サービスコーナー他
 お問い合わせ：兵庫区役所まちづくり課
 Tel 511-2111（内線475）

人生遊歩 シルバーを楽しく

笑って、楽しく

須磨区 天野 豊美さん

西部センターの会員の中に、大道芸を趣味にする天野豊美さんがおられます。

50歳を過ぎてから、お孫さんを喜ばせたいとの一心から、南京玉すだれを習い始めたと言います。

今回、須磨区内のデイサービス施設を訪問し大道芸の演技をされている同氏から体験などを語っていただきました。以下は天野さんのお話です。

最初は小さな教室で習っていましたが、半年ほどで教室が閉鎖されました。次どうしようかと迷っているときに、友達から八房梅香師匠やっふさばいこうが主催される「日本南京玉すだれ協会」があるよと、紹介されました。家元にお会いすると、大道芸の楽しさと奥深さを一生懸命に説いてくださり、私が長年追い求めていたものは、これだと運命的な出会いを感じました。

同協会は神戸市中央区元町に本部があり会員は600人程です。平均年齢60歳ぐらいでしょうか。定年退職後に入会される方が多いようです。演目は「八房流南京玉すだれ」「八房流皿回し」「動物風船」「傘回し」などです。師匠のモットーは“元気に陽気にイキイキと”という言葉です。

一番印象に残っていることと言えば、特別養護老人ホームで、今まで一度も笑ったことのないおじいさんが、私の演技を見て初めて笑って下さったことです。ホームの人達がなぜだろうと不思議がっていました。医療では解決できない心のケアに役立つのだと思うと、とても嬉しかったです。またある時は、心に障害を持つ子供の前で細長い風船を

操ってあつという間にウサギを作ってあげた時、今まで全く口を開かなかった坊やが「ありがとう、またきてね」と言ってくれたことです。

これまでパレードで訪問した所は、国内では東京原宿、津市、大和郡山市、大阪市、河内長野市、姫路市、松江市、博多市、鹿児島市、海外ではハワイ、シンガポールなどです。シンガポールではチンゲンパレードと言って同市の目抜き通りをパレードするのですが、その中心部に大統領や俳優のジャッキーチェンさんがおられて、その目の前で南京玉すだれを演じさせてもらったことに感動しました。

入賞の経験は数多くありますが、富山県砺波市

で開かれた「第2回日本南京玉すだれ選手権」で個人賞に輝いた時はとても嬉しかったです。

八房梅香師匠を尊敬できる場所は、南京玉すだれを伝統芸の領域に留めることなく、常に改良、進化させているところです。現在、師匠から八房陽香やっふさようこうの名を頂き日本玉すだれ協会理事・A級指導者を務めています。今年4月にはベトナムへ公演にでかけます。

天野さんは、まさに人生遊歩を地でいっているような人でした。

なお、シルバー会員として、現在、就活中と意気盛んな方でした。



デイサービス施設で大道芸を演じる天野さん



シンガポールでのパレード(右から2人目が天野さん)



紙面講座

最終回

「ウイズ・エイジング」ということばをめぐって

神戸市看護大学 沼本 教子 教授



今回で連載は最後になります。これまでの4回は老年期における健康と健康に生きるための知識についての話題を提供してきました。人間はだれでも「健康に生きたい」し、「生き続ける存在」でありたいと願います。しかし、生物体としての人間は老化過程の最終として何らかの病的状態(病氣)になり、その結果として障がいをもって生きることになったり、介護を必要とするようになり、そして誰もが平等に死を迎えることとなります。私が看護師をしていた若い時に、尊敬する先輩の人に言われた、今でも印象深く記憶にあることばがあります。それは「死だけが絶対である。その他のことはすべて相対である」ということばです。20代前半に聞いたことばですが、還暦を迎えた今、妙によく思い出されます。当時病院の中で病氣と向き合う多くの患者さんへの看護をとおして自分なりに「人間の生と死」について一生懸命に考えていたのだと思います。しかし、「人生の秋」の時間を生きる現在、老いをどう生きるか、死をどう迎えるかは私の日常的な思考の中にしっかりと根付きつつあります。つまり、老年期の健康や老いの問題は人ごとではなくなってきたということでしょう。そんな中で、最近目にした新聞記事に目が止まりました。「ウイズ・エイジング(With Aging)」ということば=考え方で。その意味は、加齢(エイジング)による心身の変化に抵抗したり落胆したりせず素直に受け入れ、人間としての尊厳や自分らしさを失わずに前向きに生きることを目指す考え方(鳥羽研二・杏林大学教授・高齢医学が提唱)ということだそうです。私たちの周りにはコマーシャルをはじめとして「アンチエイジング(Anti-Aging)」=抗老化の“嵐”が吹き荒れていますので、ちょっとびっくり、それってなに?って思われる向きも多いのではないのでしょうか。年齢を重ねるこ

とは悪いことに思われがちですが、肉体的にも精神的にも個人差が大きくなる老化過程をその人なりの「個性」ととらえ、老いていく自分を前向きに受け止め、自分らしい老いを探しながら死ぬまでの時間を生き抜いていくことが「ウイズ・エイジング」では大切なことのように思います。そうは言っても今の社会は年をとることを不安に思い、寂しさは避けられないと思う人が多いのも現実です。生産性や効率性の支配する現代社会のしくみや文化、意識を変えていかなければ「ウイズ・エイジング」とはいかないものです。安心して老いることのできる社会、納得のいく最期を迎えられる医療や福祉が「ウイズ・エイジング」の大前提として必要です。私もそんな社会づくりに向けて参加していけたらと思います。

ところで最近では、アンチエイジング川柳(NPOアンチエイジングネットワーク)も人気ようです。「『若返り』 残念! あなたは『若作り』」(2007年佳作)。アンチエイジングということばの中に諧謔の精神に溢れたものが多く、読んでいて思わずニヤリとするものも含まれ、私たち日本人の中には老いを突き放して笑うことのできる強さ(つまり、ウイズ・エイジングの考え方)もあるのではないかと感じます。みなさんも一句ひねってみてはいかがでしょうか。



神戸市シルバー人材センター シンボルマークの入選作品が決定しました

昨年7月に神戸市シルバー人材センターシンボルマークを募集したところ、多数の応募を頂き有難うございました。残念ながら優秀賞の該当はありませんでしたが、4名の方々が佳作に入選しました。

2月19日に表彰式を行い熊取谷理事長から表彰状と副賞が授与されました。入選された作品は今後、シルバー人材センター事業の中で活用していく予定です。



神戸市環境局にリサイクルバッグ等を贈呈しました ~ミシン工房~



2月9日にミシン工房の会員がリサイクルバッグやエプロン等193点を神戸市環境局に贈呈しました。

リサイクルバッグやエプロン等は不要となった使用済みバナーフラッグやのぼり等を再利用して制作した物で、ミシン工房の会員8名が1ヶ月かけて作り上げました。

当日は、神戸市環境局の佐藤資源循環部長に目録を手渡しました。その後、岡本減量リサイクル推進課長、茶屋道地球環境課長の2名の方も交え懇談し、佐藤部長は「非常に素晴らしい作品ばかりで驚きました。環境のためにはリデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)への取り組みが重要ですが、皆さんの活動はまさにこの取り組みに一致するものです。いただいた作品は環境局が行うイベントなどで有効に活用していきたい」と話されていました。



後列左から、中谷会員、日比会員、吉岡会員、茶屋道地球環境課長、岡本減量リサイクル推進課長、坂尻中部センター所長
前列左から、西田会員、佐藤資源循環部長、角石会員

女性会員のみなさんへ

みなさんもミシン工房での活動に参加しませんか。

お問合せは中部センター(TEL521-8000)までご連絡ください。

なお、ミシン工房の詳しい活動内容はシルバー人材ニュース平成21年9月号をご覧ください。

センター だ・よ・り

西区センター

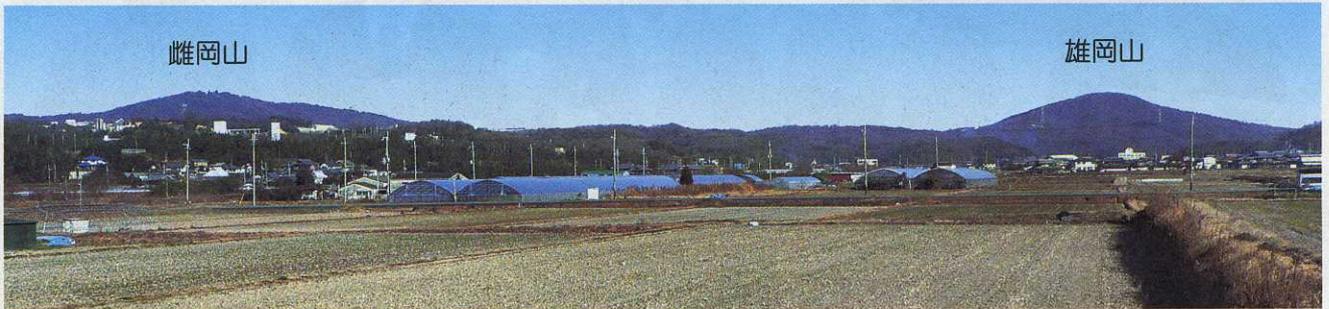
西区地名ものしり

西区には歴史深い、由緒ある地名が数多くあります。しかし、難しすぎて他の地域の方には読めない地名もたくさんあります。西区センターに着任した職員は、正しい地名の読み方と、西区の中でどの地域にあるのかで、みんな悩み苦労しています。

今回は、特に読みが難しい地名を一部集めてみました。みなさんはいくつ読めるでしょうか？お気軽に挑戦してみてください。

また、これらの歴史や文化を継承している西区の散策に、一度お出かけになってみてはいかがでしょうか。

【問題】 ①五百蔵 ②勝成 ③近江 ④小束野 ⑤紫合 ⑥前開 ⑦櫛谷 ⑧雄岡山・雌岡山



【答えと由来】

①五百蔵 (いおろい) ②勝成 (よしなり)

18世紀、五百蔵孫六郎勝成によって新田開発された地域。

③近江 (きんこう) 昔、法道仙人が近江湖水で拾い上げた流木を空中に投げ、押部谷付近に届いた。その木で造った観音像を安置した寺を「近江寺」といった。

④小束野 (こそくの) とは緩い傾斜地の意味。一帯は明治中ごろまではほとんど原野だった。国と県の許可を受けた中国人実業家・呉錦堂が明治40年ごろから開拓事業に着手、自費で住宅を建て入植者とを迎えた。

⑤紫合 (ゆうだ) 元々は紫合谷 (しごうたに) と呼ばれ、村落共同体のユイとシコウが重ねあわせられ、紫合→ユイ田→ユウダという説がある

⑥前開 (ぜんかい) 明治初期、旧明石郡門前村と開発村が合併。両村から一字ずつとって「前開」とした。

⑦櫛谷 (はせたに) 法道仙人が修業し櫛の木で造った地藏菩薩を如意寺の本尊とし、それが櫛谷の地名の起りともいう。

⑧雄岡山・雌岡山 (おっこさん・めっこさん) 大きさも形も瓜二つの山、遠くから眺めると子牛の角のように見えたことから男牛 (おご) 女牛 (めご)、それが雄子尾・雌子尾となり現在に至る。

*今回の由来は特定の説からその一部を紹介しました。これ以外の説も数多くあります。紙面の都合でごく一部しか紹介できませんでした。ご了承ください。

西神中央センター商業施設「プレシティ」のリニューアルを機会に！

西区センター近くの地下鉄西神中央駅前にある「プレシティ」が、開業20周年を機にリニューアルされました。成熟しつつある西神ニュータウンのニューファミリー層を中心に、人口増が続いている西神南ニュータウンなどを商圈に加え、地域にいつまでも愛される魅力ある街になりました。

特に女性を意識したファッション、インテリアの店舗も増え、幅広い年齢層、親子連れなどで賑わっています。新装された1階センターコートには、西区の花「なでしこ」をかたどった時計のモニュメントが設置されています。

西神中央センターの商業施設でも多くのシルバー会員が就業しています。みなさまも、お休みの日などこの機会に西区まで足をお運びください。



プレシティ・センターコート

